



^ 5
4445



陽能

葉家以第

5
4445

5
4445

門 5
號 4445
卷

昭和九年
十月三日
購末

Red seal impression in seal script, likely a library or collection stamp.

Large, dark, illegible handwritten characters in cursive script.

Red rectangular stamp containing the number 4445 and Chinese characters: 門 八 五 (top), 4445 (middle), 號 卷 (bottom).

Red rectangular stamp containing the date: 昭和九年九月二十八日 (September 28, 1934) and the characters 購求 (Purchase).

Large, dark, illegible handwritten characters in cursive script, possibly bleed-through from the reverse side.

Handwritten text in a cursive script, possibly a form of shorthand or a specific dialect. The text is arranged in several lines within a rectangular border. A red square seal is visible in the upper right corner of the page.

情府 蔡脚 城 南 南 南 南
Handwritten text in a cursive script, possibly a form of shorthand or a specific dialect. The text is arranged in several lines. A red square seal is visible in the upper right corner of the page.



たれいあくもあふよ
のひなまのこしむさひの
ひやうとくひのこまき
乃山あつてくさく申す
えんまきしやうしんた
達ふあつてしんらうい
善の屋の屋ましんらうい

とまそれあつてしんらうい
のひなまのこしむさひの
ひやうとくひのこまき
乃山あつてくさく申す
えんまきしやうしんた
達ふあつてしんらうい
善の屋の屋ましんらうい

よれくハ橋の橋よりかた

ひの屋とやらよんひのきく平の
あふの玉母りえんこまけし
背ひのぬえ一屋のききえん
和漢徳句よびしとひの場ふ
あふらあふのあましとあまき
てあえしけのころあふあふと
しとあふあふとあふあふ
う合符のあふ一はあふのあふえ
しとあふあふとあふあふ
あふあふあふあふあふあふ
あふあふあふあふあふあふ
あふあふあふあふあふあふ
あふあふあふあふあふあふ
あふあふあふあふあふあふ
あふあふあふあふあふあふ

れよとてくわさるる人かたらかたえ
とらあやうらう人かたらかたえ
いふあやうらう人かたらかたえ
りあやうらう人かたらかたえ
つるあやうらう人かたらかたえ
のくわあやうらう人かたらかたえ

い 志 松 志 松 志 松 志 松

い 志 松 志 松 志 松 志 松

い 志 松 志 松 志 松 志 松

い 志 松 志 松 志 松 志 松

い 志 松 志 松 志 松 志 松

よハニ方物之居候よ打鐵焼入
一家の子 勢衆の人より之 念

居候よ打鐵焼入
居候よ打鐵焼入

一 板別 名宗よ二方之板の字は長

一 門一板ありしとくも他へ傳

一 海島み するよ七方とくも之

一 文字入一むしつめあり勢

ハズハしつめありしつめあり勢

一 一七方とくも之

一 一七方とくも之

一 一七方とくも之

一 一七方とくも之

一 一七方とくも之

一 一七方とくも之

一 一七方とくも之

一 一七方とくも之

一 一七方とくも之

一 一七方とくも之

乃ら七言絶句

一 雲の乃非

人物よこしき新

一 雲の乃非 西の乃白とさき

雲の乃非 西の乃白とさき

一 雲の乃非 西の乃白とさき

雲の乃非 西の乃白とさき

一 雲の乃非 西の乃白とさき

一 雲の乃非 西の乃白とさき

一 雲の乃非 西の乃白とさき

一 雲の乃非 西の乃白とさき

一 雲の乃非 西の乃白とさき

一 雲の乃非 西の乃白とさき

一 雲の乃非 西の乃白とさき

一 雲の乃非 西の乃白とさき

一 雲の乃非 西の乃白とさき

一 雲の乃非 西の乃白とさき

一 雲の乃非 西の乃白とさき

一 雲の乃非 西の乃白とさき

一 雲の乃非 西の乃白とさき

一 乳とありし 物大場乳のからし かん場

一 じよあけ 付るものうきし

一 けし 好味ふ 乳の付りし

一 茶 久味時 好味 音 茶を飲

一 酒 茶良 好味を好む 好む

一 茶の白二 赤白 好味 けいを好む

一 ちくくみん 好味 乃白二のちくくみん

一 赤白のちくくみん 好味 乃白二のちくくみん

一 茶の白二 好味 乃白二のちくくみん

一 物とありし 物とありし 物とありし

一 物とありし 物とありし 物とありし

一 物とありし 物とありし 物とありし

一 物とありし 物とありし 物とありし

一 物とありし 物とありし 物とありし

一 物とありし 物とありし 物とありし

一 物とありし 物とありし 物とありし

一 物とありし 物とありし 物とありし

一 物とありし 物とありし 物とありし

一 物とありし 物とありし 物とありし

いづの回び ちんし ちんしよあしひ

いづの回び ちんし ちんしよあしひ

いづの回び ちんし ちんしよあしひ

いづの回び ちんし ちんしよあしひ

いづの回び ちんし ちんしよあしひ

いづの回び ちんし ちんしよあしひ

いづの回び ちんし ちんしよあしひ

いづの回び ちんし ちんしよあしひ

いづの回び ちんし ちんしよあしひ

いづの回び ちんし ちんしよあしひ

いづの回び ちんし ちんしよあしひ

いづの回び ちんし ちんしよあしひ

いづの回び ちんし ちんしよあしひ

いづの回び ちんし ちんしよあしひ

いづの回び ちんし ちんしよあしひ

いづの回び ちんし ちんしよあしひ

いづの回び ちんし ちんしよあしひ

いづの回び ちんし ちんしよあしひ

いづの回び ちんし ちんしよあしひ

一 後者より前者をいふことあるは
従ふしるが綱いよりあるが綱い

凡そ一物より一物に上り下り

一人より一人物より一物に上り下り

一物より一物に向ふの如きは二物に上り下り

一物より一物に向ふの如きは二物に上り下り

一物より一物に向ふの如きは二物に上り下り

一物より一物に向ふの如きは二物に上り下り

一物より一物に向ふの如きは二物に上り下り

一物より一物に向ふの如きは二物に上り下り

一物より一物に向ふの如きは二物に上り下り

一物より一物に向ふの如きは二物に上り下り

一物より一物に向ふの如きは二物に上り下り

一物より一物に向ふの如きは二物に上り下り

一物より一物に向ふの如きは二物に上り下り

一物より一物に向ふの如きは二物に上り下り

一物より一物に向ふの如きは二物に上り下り

一物より一物に向ふの如きは二物に上り下り

一物より一物に向ふの如きは二物に上り下り

後野一抄集一海部三十一卷

此乃乃と物之的の聖

鳥のうい

洞二

洞二

洞二

洞二

洞二

洞二

洞二

洞二

洞二

洞二

洞二

洞二

洞二

洞二

洞二

洞二

洞二

洞二

洞二

洞二

洞二

洞二

洞二

洞二

洞二

洞二

洞二

洞二

洞二

洞二

洞二

洞二

洞二

洞二

洞二

一 櫻よよ ちんちん けんとく ちんちん

一 櫻のまゝ 月日をとるゝの 櫻

一 櫻よよ ちんちん 二つ

一 櫻のまゝ ちんちん ちんちん

一 櫻よよ ちんちん 二つ

一 櫻のまゝ ちんちん ちんちん

一 櫻よよ ちんちん ちんちん

一 櫻のまゝ ちんちん ちんちん

一 櫻よよ ちんちん ちんちん

一 櫻のまゝ ちんちん ちんちん

一 櫻よよ ちんちん ちんちん

一 櫻のまゝ ちんちん ちんちん

一 櫻よよ ちんちん ちんちん

一 櫻のまゝ ちんちん ちんちん

一 櫻よよ ちんちん ちんちん

一 櫻のまゝ ちんちん ちんちん

一 櫻よよ ちんちん ちんちん

一 櫻のまゝ ちんちん ちんちん

一 櫻よよ ちんちん ちんちん

のまゝ

一 ち甲 生れよ

一 ち乙 生のよ

一 友二 人悦え 悦ひ二

一 物 悦ひ 悦ひ 悦ひ

一 物 悦ひ 悦ひ 悦ひ

一 物 悦ひ 悦ひ 悦ひ

一 物 悦ひ 悦ひ 悦ひ

一 物 悦ひ 悦ひ 悦ひ

一 物 悦ひ 悦ひ 悦ひ

一 物 悦ひ 悦ひ 悦ひ

一 物 悦ひ 悦ひ 悦ひ

一 物 悦ひ 悦ひ 悦ひ

一 物 悦ひ 悦ひ 悦ひ

一 物 悦ひ 悦ひ 悦ひ

一 物 悦ひ 悦ひ 悦ひ

一 物 悦ひ 悦ひ 悦ひ

一 物 悦ひ 悦ひ 悦ひ

一 物 悦ひ 悦ひ 悦ひ

一 物 悦ひ 悦ひ 悦ひ

一 さらさら

息よ二二共二

一 中風よ

息のいけり
月二句 地え

一 袴袴

袴袴 袴袴

一 袴袴

あきと 袴袴

一 袴袴

あきと 袴袴よあきと

一 袴袴の袴

あきとよあきと

一 袴袴

あきと

一 袴袴

あきとのあきと

一 袴二

一 袴

人 袴よあきとあきと

一 袴

人 袴よあきとあきと

一 袴よあきと

あきとあきとあきとあきと

一 袴のてあきと

あきとあきとあきとあきと

一 袴あきとあきと

あきとあきとあきとあきと

一 袴あきとあきと

あきとあきとあきとあきと

一 總の小神
一 物
一 二
一 三
一 四
一 五
一 六
一 七
一 八
一 九
一 十

一 二
一 三
一 四
一 五
一 六
一 七
一 八
一 九
一 十

一 一
一 二
一 三
一 四
一 五
一 六
一 七
一 八
一 九
一 十

一 じやう子 小ぶる衣 雑織入

わ 家新 玉 法子 ころも

ねと物之 人物の如く

一 玉ふ のほりし玉の如く

十玉面成りて如く

一 玉ふ 玉の如く 玉の如く 玉の如く

一 和衣よ 和衣今おくと物之

一 玉の如く 玉の如く 玉の如く

一 玉の如く 玉の如く 玉の如く

一 玉の如く 玉の如く 玉の如く

一 玉の如く 玉の如く 玉の如く

一 玉の如く 玉の如く 玉の如く

一 玉の如く 玉の如く 玉の如く

一 玉の如く 玉の如く 玉の如く

一 玉の如く 玉の如く 玉の如く

一 玉の如く 玉の如く 玉の如く

一 玉の如く 玉の如く 玉の如く

一 玉の如く 玉の如く 玉の如く

一 玉の如く 玉の如く 玉の如く

一 山に 生れし 花は 山に 入る

一 山に 生れし 花は 山に 入る

一 山に 生れし 花は 山に 入る

一 山に 生れし 花は 山に 入る

一 山に 生れし 花は 山に 入る

一 山に 生れし 花は 山に 入る

一 山に 生れし 花は 山に 入る

一 山に 生れし 花は 山に 入る

一 山に 生れし 花は 山に 入る

一 山に 生れし 花は 山に 入る

一 山に 生れし 花は 山に 入る

一 山に 生れし 花は 山に 入る

一 山に 生れし 花は 山に 入る

一 山に 生れし 花は 山に 入る

一 山に 生れし 花は 山に 入る

一 山に 生れし 花は 山に 入る

一 山に 生れし 花は 山に 入る

一 山に 生れし 花は 山に 入る

一 山に 生れし 花は 山に 入る

一 山に 生れし 花は 山に 入る

一 山に 生れし 花は 山に 入る

門立

鳥のり

定

難

難

いにおうらよ

おとらるくはあらん

地よ

くふ

鳥の難

古の鳥

くふ

鳥のり

くふ

くふくふくふくふくふく

くふ

くふくふくふくふく

くふ

くふくふくふくふく

くふ

くふくふくふくふく

くふ

くふくふくふくふく

くふ

くふくふくふくふく

くふ

くふくふくふくふく

くふ

くふくふくふくふく

くふ

くふくふくふくふく

くふ

くふくふくふくふく

くふ

くふくふくふくふく

くふ

くふくふくふくふく

くふ

くふくふくふくふく

くふ

くふくふくふくふく

くふ

くふくふくふくふく

くふ

くふくふくふくふく

一 卯子 卯子川 卯子又 卯子又 卯子又

卯子又 卯子又 卯子又 卯子又

一 卯子の 卯子の 卯子の 卯子の

一 卯子の 卯子の 卯子の 卯子の

一 卯子の 卯子の 卯子の 卯子の

卯子の 卯子の 卯子の 卯子の

一 卯子の 卯子の 卯子の 卯子の

一 卯子の 卯子の 卯子の 卯子の

一 卯子の 卯子の 卯子の 卯子の

一 卯子の 卯子の 卯子の 卯子の

卯子の 卯子の 卯子の 卯子の

卯子の 卯子の 卯子の 卯子の

一 卯子の 卯子の 卯子の 卯子の

一 卯子の 卯子の 卯子の 卯子の

卯子の 卯子の 卯子の 卯子の

卯子の 卯子の 卯子の 卯子の

一 卯子の 卯子の 卯子の 卯子の

一 卯子の 卯子の 卯子の 卯子の

一 卯子の 卯子の 卯子の 卯子の

一 遊 海 びるにむらり

一 海 びるにむらり

一 海 びるにむらり

一 海 びるにむらり

一 海 びるにむらり

一 海 びるにむらり

一 海 びるにむらり

一 海 びるにむらり

一 海 びるにむらり

一 代 由 三つむらり

一 世 以 二 連 懐 一 二 此の世二 彼の世

一 二 浮 世 多 世 八 連 懐 之 世 取 世 の 人 多

一 多 世 之 前 世 後 世 八 世 之 多 世 之 多 世 之

一 多 世 之 多 世 之 多 世 之 多 世 之 多 世 之

一 多 世 之 多 世 之 多 世 之 多 世 之 多 世 之

一 多 世 之 多 世 之 多 世 之 多 世 之 多 世 之

一 多 世 之 多 世 之 多 世 之 多 世 之 多 世 之

一 多 世 之 多 世 之 多 世 之 多 世 之 多 世 之

一 多 世 之 多 世 之 多 世 之 多 世 之 多 世 之

一 夜ふひ

一 あいふ

一 とき

一 ときよ二 とき

一 遊生

一 吾はよ二 吾

一 たま

一 針衣

一 松

一 嶽

一 孝

一 けりる

一 之松二

一 嶽二

一 のん

一 ころもけ

一 ころも

一 ころも

一 ころも

一 ころも

一 松二

一 松二

一 松の

一 松

一 松

一 松

一 山

一 松

一 松

一 松

一 山

一 松二

一 松二

一 松

一 松

一 松

一 松

一 松

一 松

一 松

一 松

一 松

一 松

一 松

一竹のま 井紙 人ぬのい

一竹よ 流袋ニのこ

一ゆけよ ちのこ

一ゆけよ 竹田乃のこ

一ゆけよ 長ニのこ

一竹のよ 箱ニのこ

一ゆけよ 二のこ

一ゆけよ 竹田乃のこ

一ゆけよ 長ニのこ

一ゆけよ 箱ニのこ

一ゆけよ 二のこ

一ゆけよ 竹田乃のこ

一ゆけよ 長ニのこ

一ゆけよ 箱ニのこ

一ゆけよ 二のこ

一ゆけよ 竹田乃のこ

一ゆけよ 長ニのこ

一ゆけよ 箱ニのこ

一ゆけよ 二のこ

田乃乃乃 居心よあらん

田とゆらん 難さらん

田よ 由のむら居らんひくもる

田よ 立のま二句之 田八と句之

田ひああはよあらん他うらん

一 八句之のしりきこもる

一 儀のまじり

一 儀乃あらん八句之句之

只うらん八句之

一 儀乃あらん八句之句之

一 儀乃あらん八句之句之

一 儀乃あらん八句之句之

一 儀乃あらん八句之句之

一 儀乃あらん八句之句之

一 儀乃あらん八句之句之

一 儀乃あらん八句之句之

一 儀乃あらん八句之句之

一 儀乃あらん八句之句之

一 儀乃あらん八句之句之

一 花より 花よりとてささくし

一 花より 花よりとてささくし

一 花より 花よりとてささくし

一 花より 花よりとてささくし

一 花より 花よりとてささくし

一 花より 花よりとてささくし

一 花より 花よりとてささくし

一 花より 花よりとてささくし

一 花より 花よりとてささくし

一 花より 花よりとてささくし

一 花より 花よりとてささくし

一 花より 花よりとてささくし

一 花より 花よりとてささくし

一 花より 花よりとてささくし

一 花より 花よりとてささくし

一 花より 花よりとてささくし

一 花より 花よりとてささくし

一 花より 花よりとてささくし

一 花より 花よりとてささくし

言ん齋よ ことん ぬくとん

人物さの

人物さ

あひのり

あひのり

あひのり

あひのり

あひのり

あひのり

あひのり

あひのり

あひのり

あひのり

あひのり

あひのり

あひのり

あひのり

あひのり

一 僧 人 傷 之 憐 人 傷 之 憐

一 遊 洲 乃 名 人 傷 之 憐

一 羨 名 之 人 傷 之 憐

一 羨 名 之 人 傷 之 憐

一 月 而 止 此 之 月 之 月 之 月

一 月 而 止 此 之 月 之 月 之 月

一 月 而 止 此 之 月 之 月 之 月

一 月 而 止 此 之 月 之 月 之 月

一 月 而 止 此 之 月 之 月 之 月

一 月 而 止 此 之 月 之 月 之 月

一 月 而 止 此 之 月 之 月 之 月

一 月 而 止 此 之 月 之 月 之 月

一 月 而 止 此 之 月 之 月 之 月

一 月 而 止 此 之 月 之 月 之 月

一 月 而 止 此 之 月 之 月 之 月

一 月 而 止 此 之 月 之 月 之 月

一 月 而 止 此 之 月 之 月 之 月

一 月 而 止 此 之 月 之 月 之 月

一 月 而 止 此 之 月 之 月 之 月

一月よ 朔月 二回 打ちあし
一月よ 朔月 打ちあし
てハ 打ちあし

一月よ 朔月 打ちあし
一月よ 朔月 打ちあし
一月よ 朔月 打ちあし

一月よ 朔月 打ちあし
一月よ 朔月 打ちあし
一月よ 朔月 打ちあし

一月よ 朔月 打ちあし
一月よ 朔月 打ちあし
一月よ 朔月 打ちあし

一月よ 朔月 打ちあし
一月よ 朔月 打ちあし
一月よ 朔月 打ちあし

一月よ 朔月 打ちあし
一月よ 朔月 打ちあし
一月よ 朔月 打ちあし

一月よ 朔月 打ちあし

一 露ふけくるとのひくそ 露ふけ

一 又津母の母乃き 又津母

一 此道くよさひく 七か塔の

一 情もまら定く 情もまら

一 時く 時く

一 述ら 述ら

一 過 過

一 聖 聖

一 妻よ 妻よ

一 人 人

一 人 人

一 聖 聖

一 梅 梅

一 花 花

一 補 補

一 人 人

一 子 子

一 戸 戸

一 戸 戸

龍所^りる^るよ^よ若^らりて^てハ^ハ色^しあ^あへ^へ

一 角^つ戸^戸 物^{もの}と^と大^{だい}特^{とく}認^{にん}よ^よさ^さく^くん^んん^ん

一 物^{もの}と^とさ^さり^り 居^いぬ^ぬよ^よあ^あく^くん^んん^んの^の四^し之^し

一 物^{もの}と^とさ^さり^り 物^{もの}と^とさ^さり^り 物^{もの}と^とさ^さり^り

一 物^{もの}と^とさ^さり^り 物^{もの}と^とさ^さり^り 物^{もの}と^とさ^さり^り

一 物^{もの}と^とさ^さり^り 物^{もの}と^とさ^さり^り 物^{もの}と^とさ^さり^り

一 物^{もの}と^とさ^さり^り 物^{もの}と^とさ^さり^り 物^{もの}と^とさ^さり^り

一 物^{もの}と^とさ^さり^り 物^{もの}と^とさ^さり^り 物^{もの}と^とさ^さり^り

一 物^{もの}と^とさ^さり^り 物^{もの}と^とさ^さり^り 物^{もの}と^とさ^さり^り

一 物^{もの}と^とさ^さり^り 物^{もの}と^とさ^さり^り 物^{もの}と^とさ^さり^り

一 物^{もの}と^とさ^さり^り 物^{もの}と^とさ^さり^り 物^{もの}と^とさ^さり^り

一 物^{もの}と^とさ^さり^り 物^{もの}と^とさ^さり^り 物^{もの}と^とさ^さり^り

一 物^{もの}と^とさ^さり^り 物^{もの}と^とさ^さり^り 物^{もの}と^とさ^さり^り

一 物^{もの}と^とさ^さり^り 物^{もの}と^とさ^さり^り 物^{もの}と^とさ^さり^り

一 物^{もの}と^とさ^さり^り 物^{もの}と^とさ^さり^り 物^{もの}と^とさ^さり^り

一 物^{もの}と^とさ^さり^り 物^{もの}と^とさ^さり^り 物^{もの}と^とさ^さり^り

一 物^{もの}と^とさ^さり^り 物^{もの}と^とさ^さり^り 物^{もの}と^とさ^さり^り

一 物^{もの}と^とさ^さり^り 物^{もの}と^とさ^さり^り 物^{もの}と^とさ^さり^り

一 物^{もの}と^とさ^さり^り 物^{もの}と^とさ^さり^り 物^{もの}と^とさ^さり^り

一 物^{もの}と^とさ^さり^り 物^{もの}と^とさ^さり^り 物^{もの}と^とさ^さり^り

一 物^{もの}と^とさ^さり^り 物^{もの}と^とさ^さり^り 物^{もの}と^とさ^さり^り

うんらんらん。けろり二倍。

蠟燭 燭火之 他句新。いふ。

家の戸 燭火之 燭火よふ。

村 燭火よふニ句まり 燭火之 燭火よふ。

ひくぬ 村のきよニ句き 燭火よふ。

燭火の海 燭火の海 燭火の海

梅 燭火の海 燭火の海 燭火の海

梅 燭火の海 燭火の海 燭火の海

梅 燭火の海 燭火の海 燭火の海

梅 燭火の海 燭火の海 燭火の海

梅 燭火の海 燭火の海 燭火の海

一 くるは ぬ基余のまゝ 年 七の徳ん

一 くるは 轡る山 七の徳ん 轡のまゝひ

ぬりなく 轡る山 七の徳ん 轡のまゝひ

一 くるの打鐵 車 舟 徳ん

一 くるむひ 人物さし

一 轡る山 七の徳ん 轡のまゝひ

一 轡る山 七の徳ん 轡のまゝひ

一 轡る山 七の徳ん 轡のまゝひ

一 轡る山 七の徳ん 轡のまゝひ

一 轡る山 七の徳ん 轡のまゝひ

一 轡る山 七の徳ん 轡のまゝひ

一 轡る山 七の徳ん 轡のまゝひ

一 轡る山 七の徳ん 轡のまゝひ

一 轡る山 七の徳ん 轡のまゝひ

一 轡る山 七の徳ん 轡のまゝひ

一 轡る山 七の徳ん 轡のまゝひ

一 轡る山 七の徳ん 轡のまゝひ

一 轡る山 七の徳ん 轡のまゝひ

一 轡る山 七の徳ん 轡のまゝひ

うた

綴冊

のよとくしんから

ふよ

のがら

のら

二句始く

うた

御もく

うた

世のまがよ二句

うた

世くるひまらみ 迷様よあはれ

恋乃世よあはれ

うた

まのうた

新

うた

つらもくも二句始く

うた

あふよ ちか

うた 山し 川のまよふかよ

うた かんよ ちか 二句始く

うた ちか

うた

ちか

うた ちか ちか 二句始く

うた ちか ちか 二句始く

うた ちか ちか 二句始く

うた ちか ちか 二句始く

うた ちか ちか 二句始く

うた ちか ちか 二句始く

一 流のうま 夫を能くもめは焼く

一 愛のまよ 空より

ぬ 最のまよ 面とくわくくは

一 井 虫二 ありまよ二

一 舞ののらき 空を射よ一白く

あよ八面はさくしぬ

の法 法法 法の脚 法の脚

よくいさくくはまへん 一 舞のまよ

一 舞のまよ 空を射よ一白く

一 舞のまよ 空を射よ一白く

一 舞のまよ 空を射よ一白く

一 舞のまよ 空を射よ一白く

一 舞のまよ 空を射よ一白く

一 舞のまよ 空を射よ一白く

一 舞のまよ 空を射よ一白く

ま先よ二るまきし之

一 舞のまよ 空を射よ一白く

一 舞のまよ 空を射よ一白く

一 舞のまよ 空を射よ一白く

一 舞のまよ 空を射よ一白く

一 龍のりからりてく 龍のりからりてく

一 龍のりからりてく 龍のりからりてく

一 龍のりからりてく 龍のりからりてく

一 龍のりからりてく 龍のりからりてく

一 龍のりからりてく 龍のりからりてく

一 龍のりからりてく 龍のりからりてく

一 龍のりからりてく 龍のりからりてく

一 龍のりからりてく 龍のりからりてく

一 龍のりからりてく 龍のりからりてく

一 龍のりからりてく 龍のりからりてく

一 龍のりからりてく 龍のりからりてく

一 龍のりからりてく 龍のりからりてく

一 龍のりからりてく 龍のりからりてく

一 龍のりからりてく 龍のりからりてく

一 龍のりからりてく 龍のりからりてく

一 龍のりからりてく 龍のりからりてく

一 龍のりからりてく 龍のりからりてく

一 龍のりからりてく 龍のりからりてく

一 龍のりからりてく 龍のりからりてく

わんわん

一 為る葉二

一 木乃の葉葉二

一 發一

まよとまよとく又二まよとまよと

一 森

所折よ二つらまよと

一 ぢぢれ

尾のまよと森葉よ二つら

一 行くて白

うん物よ二つら

一 せよまよら

けよのあひ 人帰よあひ

一 ぢぢの葉

思のまよと葉よ二つら

一 ぢぢぢぢ

まよとまよとまよと

一 ぢぢぢぢ

ぢぢぢぢ

一 ぢぢぢ

ぢぢぢぢ

一 ぢぢぢ

ぢぢぢぢ

ぢぢぢぢ

一 ぢぢ

ぢぢ二つら

一 ぢぢ

大面 大面

ぢぢぢぢ

ぢぢぢぢ

一 ぢぢ

ぢぢぢぢ

一 ぢぢ

ぢぢぢぢ

一 土心 神は月日ありてのまよひのまよひ
二 ありては ねむりし又まよひ
一 ねむりし ねむり ねむり ねむり

一 ねむりし ねむりし ねむりし ねむりし
一 ねむりし ねむりし ねむりし ねむりし

一 ねむりし ねむりし ねむりし ねむりし
一 ねむりし ねむりし ねむりし ねむりし

一 ねむりし ねむりし ねむりし ねむりし
一 ねむりし ねむりし ねむりし ねむりし

一 ねむりし ねむりし ねむりし ねむりし
一 ねむりし ねむりし ねむりし ねむりし

一 ねむりし ねむりし ねむりし ねむりし
一 ねむりし ねむりし ねむりし ねむりし

一 ねむりし ねむりし ねむりし ねむりし
一 ねむりし ねむりし ねむりし ねむりし

一 ねむりし ねむりし ねむりし ねむりし
一 ねむりし ねむりし ねむりし ねむりし

一 ねむりし ねむりし ねむりし ねむりし
一 ねむりし ねむりし ねむりし ねむりし

一 善よ くらひのちかきしるし

まじく うらむにむし 善のま村

乃まよふと二白はるし

一 善ら 人病く 村あよきし 極ん

まらば人病くあはるんゆん

一 狂極 狂のまよはるる極ん 狂

あうしへは狂くらんゆよきし

一 くらげ 月のかしとくしひ

一 くらげ くらげよあしと

一 車 二匹の車一匹車にてくらげ

ワラシくしひくらげらんゆよきし

一 車 車 車 車 車よあはるるあはるへ

一 狂 狂 狂 狂 狂

くらげ 狂 狂 狂 狂 狂

一 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二

一 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二

一 くらげ くらげ くらげ くらげ くらげ

一 くらげ くらげ くらげ くらげ くらげ

一 くらげ くらげ くらげ くらげ くらげ

一 下のまゝにむかへ
物とくをえ 中敷のりくをむとえ

一 又をむく
一 ぬき くらひく ぬきをえ

一 へんくよひく定む
切ぬりぬりの只にむかへ

一 ぬき くらひく ぬきをえ
一 ぬき くらひく ぬきをえ

一 ぬき くらひく ぬきをえ
一 ぬき くらひく ぬきをえ

一 ぬき くらひく ぬきをえ
一 ぬき くらひく ぬきをえ

一 ぬき くらひく ぬきをえ
一 ぬき くらひく ぬきをえ

一 ぬき くらひく ぬきをえ
一 ぬき くらひく ぬきをえ

一 ぬき くらひく ぬきをえ
一 ぬき くらひく ぬきをえ

一 ぬき くらひく ぬきをえ

く色帯 生れよきうら 死の遊あそび

の夜 ありまじくされ類たぐひなり

物ものな 徳とくも 回まわりなり

くらしのし 非あやし ありしりかき

もるら 回まわりなり

くぞく 口くちも 色いろなり

く 解とり二

山やまの 山やまの

山やまの 山やまの 人ひと物ものよきと

山やまの 山やまの 物ものよきと

山やまの 山やまの 物ものよきと

山やまの 山やまの 物ものよきと

山やまの 山やまの 物ものよきと

山やまの 山やまの 物ものよきと

山やまの 山やまの 物ものよきと

山やまの 山やまの 物ものよきと

山やまの 山やまの 物ものよきと

山やまの 山やまの 物ものよきと

山やまの 山やまの 物ものよきと

ひらきしるくわを始くむくら

一新りしるくわ

一 穀一 穀穂入あふり

一 穀二 穂よ一 穂よ一 わと始く

わららひらきしるくわのわららひらきしるくわ

一 穀一 穀穂入あふり

一 穀二 穂よ一 穂よ一

一 穀一 穀穂入あふり

わららひらきしるくわのわららひらきしるくわ

わららひらきしるくわのわららひらきしるくわ

わららひらきしるくわのわららひらきしるくわ

一 知しるくわのわららひらきしるくわ

一 知しるくわのわららひらきしるくわ

一 知しるくわのわららひらきしるくわ

一 知しるくわのわららひらきしるくわ

一 知しるくわのわららひらきしるくわ

一 知しるくわのわららひらきしるくわ

一 知しるくわのわららひらきしるくわ

一 かのまの ねのひとほるなり

一 鹿もり 人徳もり

一 ま 松よ 子目 二のささるなり

一 松乃も 松乃さ 久の地よのひ

一 松乃二 松乃月 じとひとくふ二

一 松乃の時ね くら物よ二のく

一 まー 海松 柳 舟海松氏徳と

一 松のみくら 月影 難あり

一 まがらま八なり

一 松 生れぬん池 葉のまのまの二の

一 まらり 二のまのまのら

一 まらり 二のまのら

一 町 居ぬよのひ町 居ハ居ぬ

一 末の所 くら名 辰石月

一 松二 松乃

一 松一 松乃

一 松のまのハ 二のまの二のまの

一 松 二のまの 二のまの

一 まらり 二のまの 二のまの

娘よ子 度 向とさし

音 向 人 向とさし

向とさし 向とさし

向とさし 向とさし

向とさし 向とさし

向とさし 向とさし

向とさし 向とさし

向とさし 向とさし

向とさし 向とさし

向とさし 向とさし

向とさし 向とさし

向とさし 向とさし

向とさし 向とさし

向とさし 向とさし

向とさし 向とさし

向とさし 向とさし

向とさし 向とさし

向とさし 向とさし

向とさし 向とさし

一 下りのま 二 くらりまへへ

一 くらりまへへ 二 福くまへへ

おきまへへ 望みおきまへへ

け まよ二え しのび二

一 くらりまへへ 二 くらりまへへ

一 くらりまへへ 二 くらりまへへ

一 くらりまへへ 二 くらりまへへ

一 くらりまへへ 二 くらりまへへ

一 くらりまへへ 二 くらりまへへ

一 くらりまへへ 二 くらりまへへ

一 くらりまへへ 二 くらりまへへ

一 くらりまへへ 二 くらりまへへ

一 くらりまへへ 二 くらりまへへ

一 くらりまへへ 二 くらりまへへ

一 くらりまへへ 二 くらりまへへ

一 くらりまへへ 二 くらりまへへ

一 くらりまへへ 二 くらりまへへ

一 くらりまへへ 二 くらりまへへ

一 くらりまへへ 二 くらりまへへ

一 聚散

一 聚散 あはれ あはれ

一 けしき

一 けしき あはれ あはれ

一 ちか

一 ちか あはれ あはれ

一 ちか

一 ちか あはれ あはれ

一 ちか

一 ちか あはれ あはれ

一 ちか

一 ちか あはれ あはれ

一 ちか

一 ちか あはれ あはれ

一 ちか

一 ちか あはれ あはれ

一 ちか

一 ちか あはれ あはれ

一 ちか あはれ あはれ

一 ちか

一 ちか あはれ あはれ

一 ちか

一 ちか あはれ あはれ

一 ちか

一 ちか あはれ あはれ

一 ちか

一 ちか あはれ あはれ

一 ちか

一 ちか あはれ あはれ

一 ちか

一 ちか あはれ あはれ

一 ちか

一 ちか あはれ あはれ

一 ちか あはれ あはれ

一 ちか あはれ あはれ

一 かつぶしよ かつぶしよ

一 びのま ひととま

一 ちと ちと

一 久 久

一 色ねを 色ねを

一 玉まの 玉まの

一 文の 文の

一 文 文

一 くら くら

一 あり あり

一 ちと ちと

一 のと のと

一 ちと ちと

一 月 月

一 ちと ちと

一 舞 舞

一 ちと ちと

一 取 取

一 御 御

一 来玉

本のまゝなるらん

一 相定

ことゝ名の秋らん物言

一 ことゝ名

まゝ本のまゝを以てなるらん

一 あり

らんものよらんらん

一 あり

あるらん

秋秋 秋秋なるらん

一 あり

まゝらん

らんものよらんらん

一 あり

らんらん

らんものよらんらん

一 あり

らんものよらんらん

一 あり

あらし夫物らんらんらん

一 あり

らんものよらんらん

一 あり

らんらん

らんものよらんらん

一 あり

らんものよらんらん

一 あり

らんものよらんらん

一 あり

あ二のあらしをらんらんらんらん

一 あり

い乃あらしをらんらんらんらん

一 あり

あまの月あらしをらんらんらんらん

一 あり

らんものよらんらん

一 あり

あまのまゝあらしをらんらんらんらん

八々の流よ年暮 日暮二句終之

一 け後 昔はまのしあはれと云ふ六把音必

一 此家 後家 人場よ昔はよあはれ

一 どのあさ 人場よ熱極く

一 ぞせ 人場よ

一 けりしこよけ是のそよたれ二句

一 兼 人場よさきしり

一 密押 人場よあはれあはれあはれ

一 どのあはれ 人場よあはれあはれあはれ

一 熱のまはる 人場よあはれあはれあはれ

一 人場よあはれあはれあはれあはれ

一 意のう 人場よあはれあはれあはれあはれ

一 とけく人場のまはるあはれあはれあはれ

一 何まよとて意あはれあはれあはれあはれ

一 以 人場よ二句

一 人場よ二句

一 人場よ二句

一 人場よ二句

一 人場よ二句

櫻 花よ 火ニささく

花よ 三 ちきりハ田あふん

新よ 今剛 菊 菊 菊 菊 菊

他三升さくしんせさめはくしん

わくとはくしんハ名前はあつて

しよ 菊 菊 菊 菊 菊

いし進と名前はあつて

あ 夫川よ舟とていふしんあつて

とくま玉のえの川はあつて

あつてあつてあつてあつてあつて

あつてあつてあつてあつてあつて

あつてあつてあつてあつてあつて

ひしあつてあつてあつてあつてあつて

あつてあつてあつてあつてあつて

あつてあつてあつてあつてあつて

あつてあつてあつてあつてあつて

あつてあつてあつてあつてあつて

あつてあつてあつてあつてあつて

あつてあつてあつてあつてあつて

ゆよ めさう海二万ゆん

あつめさく とき

あつめさく 時かあをさあくゆあをさ二万ん

あつめさく 秋よ一 地のきよよ一

きよのきよふ二万ゆん

あつめさく のへうしてはゆんよあつめ

あつめさく 一よあつめさく二万ん

あつめさく 海 きのきよさゆん二万ん

あつめさく 時あつめさく 時あつめさく二万ん

あつめさく 時あつめさく 時あつめさく二万ん

あつめさく 時あつめさく 時あつめさく二万ん

あつめさく 時あつめさく 時あつめさく二万ん

あつめさく 時あつめさく 時あつめさく二万ん

あつめさく 時あつめさく 時あつめさく二万ん

あつめさく 時あつめさく 時あつめさく二万ん

あつめさく 時あつめさく 時あつめさく二万ん

あつめさく 時あつめさく 時あつめさく二万ん

あつめさく 時あつめさく 時あつめさく二万ん

あつめさく 時あつめさく 時あつめさく二万ん

一 魚定 一 魚 一 魚 一 魚 一 魚

一 魚 一 魚 一 魚 一 魚 一 魚

一 魚 一 魚 一 魚 一 魚 一 魚

一 魚 一 魚 一 魚 一 魚 一 魚

一 魚 一 魚 一 魚 一 魚 一 魚

一 魚 一 魚 一 魚 一 魚 一 魚

一 魚 一 魚 一 魚 一 魚 一 魚

一 魚 一 魚 一 魚 一 魚 一 魚

一 魚 一 魚 一 魚 一 魚 一 魚

一 魚 一 魚 一 魚 一 魚 一 魚

一 魚 一 魚 一 魚 一 魚 一 魚

一 魚 一 魚 一 魚 一 魚 一 魚

一 魚 一 魚 一 魚 一 魚 一 魚

一 魚 一 魚 一 魚 一 魚 一 魚

一 魚 一 魚 一 魚 一 魚 一 魚

一 魚 一 魚 一 魚 一 魚 一 魚

一 魚 一 魚 一 魚 一 魚 一 魚

一 魚 一 魚 一 魚 一 魚 一 魚

一 魚 一 魚 一 魚 一 魚 一 魚

一 草 鴨 ちんちん ちんちん ちんちん

一 藤 袴 ちんちん ちんちん ちんちん

一 ちんちん ちんちん ちんちん ちんちん

一 網 代 ちんちん ちんちん ちんちん

一 ちんちん ちんちん ちんちん ちんちん

一 ちんちん ちんちん ちんちん ちんちん

一 ちんちん ちんちん ちんちん ちんちん

一 ちんちん ちんちん ちんちん ちんちん

一 ちんちん ちんちん ちんちん ちんちん

一 ちんちん ちんちん ちんちん ちんちん

一 ちんちん ちんちん ちんちん ちんちん

一 ちんちん ちんちん ちんちん ちんちん

一 ちんちん ちんちん ちんちん ちんちん

一 ちんちん ちんちん ちんちん ちんちん

一 ちんちん ちんちん ちんちん ちんちん

一 ちんちん ちんちん ちんちん ちんちん

一 ちんちん ちんちん ちんちん ちんちん

海

一

あつたよ二

海

二

あつたよ二

海

あつたよ

海

あつたよ 海

海

あつたよ二 海

海

あつたよ 海

海

あつたよ 海

海

あつたよ 海

海

あつたよ 海

海

あつたよ 海

海

あつたよ 海

海

あつたよ 海

海

あつたよ

あつたよ

あつたよ

海

あつたよ 海

あつたよ

あつたよ

海

あつたよ 海

海

あつたよ 海

海

あつたよ 海

海

あつたよ

海

あつたよ 海

一 一 ぐく ちのえいなるをきこく

一 一 けと きくちのあふくとゆへ

一 一 けと きくちのあふくとゆへ

一 一 山 嶺 くのふあふくとゆへ

一 一 山 嶺 くのふあふくとゆへ

一 一 山 嶺 くのふあふくとゆへ

一 一 山 嶺 くのふあふくとゆへ

一 一 山 嶺 くのふあふくとゆへ

一 一 山 嶺 くのふあふくとゆへ

一 一 山 嶺 くのふあふくとゆへ

一 一 山 嶺 くのふあふくとゆへ

一 一 山 嶺 くのふあふくとゆへ

一 一 山 嶺 くのふあふくとゆへ

一 一 山 嶺 くのふあふくとゆへ

一 一 山 嶺 くのふあふくとゆへ

一 一 山 嶺 くのふあふくとゆへ

一 一 山 嶺 くのふあふくとゆへ

一 一 山 嶺 くのふあふくとゆへ

ワラビとては梅のうらなひをくくるとんそ
申の年河崎より乃由よ又のまへ

一 けりしと きくさくさるるをきく

一 けりしと きくさくさるるをきく

一 けりしと きくさくさるるをきく

一 けりしと きくさくさるるをきく

一 けりしと きくさくさるるをきく

一 けりしと きくさくさるるをきく

一 けりしと きくさくさるるをきく

一 けりしと きくさくさるるをきく

一 けりしと きくさくさるるをきく

一 けりしと きくさくさるるをきく

一 けりしと きくさくさるるをきく

一 けりしと きくさくさるるをきく

一 けりしと きくさくさるるをきく

一 けりしと きくさくさるるをきく

一 けりしと きくさくさるるをきく

一 けりしと きくさくさるるをきく

一 如二 少年 水面よりくつひくつふ
くつふよ整りてくつふをほくへ

一 この三

一 雲をん一河之のさの ち流るのち

一 とくく又のち人

一 今一 今一 面を結

一 今一 今一 面を結

一 今一 今一 面を結

一 今一 今一 面を結

一 今一 今一 面を結

一 今一 今一 面を結

一 今一 今一 面を結

一 今一 今一 面を結

一 今一 今一 面を結

一 今一 今一 面を結

一 今一 今一 面を結

一 今一 今一 面を結

一 今一 今一 面を結

一 今一 今一 面を結

一 物の類

安よ二句の塩よ七句

一 物

あり物よ七句

一 物の類

生歌よ七句のび 三句よ

一 物の類

七句の塩よ七句のび 三句よ

一 物の類

生歌よ七句のび 三句よ

一 物の類

あり物よ七句

一 物の類

生歌よ七句のび 三句よ

一 物の類

あり物よ七句

一 物の類

生歌よ七句のび 三句よ

一 物の類

七句の塩よ七句のび 三句よ

一 物の類

一 物の類

あり物よ七句のび 三句よ

一 物の類

生歌よ七句のび 三句よ

一 物の類

七句の塩よ七句のび 三句よ

め 西のちと 西のちと

一 月 人のあはらしくせんくらわし

一 月 月 物事の月 ちとせんくらわし

一 のちのちのちのちのちのちのち

一 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月

一 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月

一 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月

一 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月

一 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月

一 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月

一 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月

一 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月

一 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月

一 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月

一 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月

一 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月

一 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月

一 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月

一 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月

一 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月

一 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月

一 多し ちりく 廿の地なり

一 多し ちりく 廿の地なり

一 ちりく 廿の地なり

一 ちりく 廿の地なり

一 ちりく 廿の地なり

一 ちりく 廿の地なり

一 ちりく 廿の地なり

一 ちりく 廿の地なり

一 ちりく 廿の地なり

一 ちりく 廿の地なり

一 ちりく 廿の地なり

一 ちりく 廿の地なり

一 ちりく 廿の地なり

一 ちりく 廿の地なり

一 ちりく 廿の地なり

一 ちりく 廿の地なり

一 ちりく 廿の地なり

一 ちりく 廿の地なり

一 ちりく 廿の地なり

廿の地なり

一 ぬき二 かんさのひくく二

一 身中二 人物さり

一 身の後二 ぬきと二 夏の色二

一 但夏よ夏とびとひくく二 夏よ夏

一 身中よ身のさるる二 ぬきと

一 年二 ぬきと二 ぬきと

一 ぬきと二 ぬきと二 ぬきと

一 ぬきと二 ぬきと

一 ぬきと二 ぬきと

一 ぬきと二 ぬきと

一 ぬきと二 ぬきと

一 ぬきと二 ぬきと

一 ぬきと二 ぬきと

一 ぬきと二 ぬきと

一 ぬきと二 ぬきと

一 ぬきと二 ぬきと

一 ぬきと二 ぬきと

一 ぬきと二 ぬきと

一 ぬきと二 ぬきと

一 梨

ちさしりゆとさし

磯

松若 山 岩 七 蟹 乃

物 じとらそへ 梨 ちさしりゆとさし

一 時

似せ物のちさしりゆとさし

湖のさしりゆとさし

一 藤

藤 藤 藤 藤 藤 藤 藤 藤 藤 藤

娘 じとらそへ 梨 ちさしりゆとさし

うゆゆ 二白ささしりゆとさし

一 藤

林 松 之 似 藤 乃 一 乃 入 入 入

一 藤

美 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

一 藤

かえん 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

一 下

のま 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

一 下

乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

一 下

乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

一 下

乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

一 下

乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

一 下

乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

一 下

乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

一 下

乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

一 龍と比喩 ちのせうのちん

一 河内 龍虎 龍虎 人傷よの

一 皮 ちんり ちんり 人傷よの

いんちん 人傷よの

一 ちんちん ちんちん ちんちん

一 ちんちん ちんちん ちんちん

一 ちんちん ちんちん ちんちん

一 ちんちん ちんちん ちんちん

一 ちんちん ちんちん ちんちん

一 ちんちん ちんちん ちんちん

一 ちんちん ちんちん ちんちん

一 ちんちん ちんちん ちんちん

一 ちんちん ちんちん ちんちん

一 ちんちん ちんちん ちんちん

一 ちんちん ちんちん ちんちん

一 ちんちん ちんちん ちんちん

一 ちんちん ちんちん ちんちん

一 ちんちん ちんちん ちんちん

一 ちんちん ちんちん ちんちん

一 ちんちん ちんちん ちんちん



急須の 赤紙の ぬき

一 急須の 赤紙の ぬき

一 急須の 赤紙の ぬき

一 急須の 赤紙の ぬき

一 急須の 赤紙の ぬき

一 急須の 赤紙の ぬき

一 急須の 赤紙の ぬき

一 急須の 赤紙の ぬき

一 急須の 赤紙の ぬき

一 急須の 赤紙の ぬき

一 急須の 赤紙の ぬき

一 急須の 赤紙の ぬき

一 急須の 赤紙の ぬき

一 急須の 赤紙の ぬき

一 急須の 赤紙の ぬき

一 急須の 赤紙の ぬき

一 急須の 赤紙の ぬき

一 急須の 赤紙の ぬき

一 急須の 赤紙の ぬき

可憐 人強よあうん
びんがうたよまは接ん

一なるの心 足おさる
一村 一時 ぬきし乃一文子八人

ひく人物 一まきよ二白ゆき也
月波の月よ しくう二白うき

目よ まきおかふしくう村をせとさうん
ひらり月日電 若月 孫助 村

ひく ぬきうはきとぬりていあさうん
こ八しんらあるん

一人の名 ころもころのこころよのせ
はゆんのこころからんりしひくこひ孫

のなみんえさうんうりえき代のあ
月あみまのうきくしひ

一夫八人 梳 雲の夫ハ七有娘人
一夫よ 孫 田 二白ききえ

一夫梅屋 林 祇人
一帯風よ 風 一白ゆき

久きくひんり 村天 二白ゆき

一歩いふよふにふくむひめりひめを

ひくとけい 五弓 琴 判 糸

一ひや、ひに二くのまこ

一ひなぬ ちやゆ 雑く

一夫氣ざらしくひきくまふは正気

一糸 糸 二 糸 二

一糸 糸 二 糸 二

一糸 糸 二 糸 二

一糸 糸 二 糸 二

一糸 糸 二 糸 二

一糸 糸 二 糸 二

一糸 糸 二 糸 二

一糸 糸 二 糸 二

一糸 糸 二 糸 二

一糸 糸 二 糸 二

一糸 糸 二 糸 二

一糸 糸 二 糸 二

一糸 糸 二 糸 二

一糸 糸 二 糸 二

一糸 糸 二 糸 二

一糸 糸 二 糸 二

物よあり

一 月式 人物よあり

一 月式 人物よあり

一 月式 人物よあり

一 月式 人物よあり

一 月式 人物よあり

一 月式 人物よあり

一 月式 人物よあり

一 月式 人物よあり

一 月式 人物よあり

一 月式 人物よあり

一 月式 人物よあり

一 月式 人物よあり

一 月式 人物よあり

一 月式 人物よあり

一 月式 人物よあり

一 月式 人物よあり

一 月式 人物よあり

一 月式 人物よあり

まわらぬふあふ

一 ともりの 妙法

一 ともりの 妙法 日鏡 念

一 つまの 紐 車輪

一 ともりの 妙法 二つねえ

一 ともりの 妙法 生熟ありきまの

のこしきいしき生熟ようらう

まわらぬ

一 ともりの 妙法

まわらぬ

一 ともりの 妙法 色強

一 ともりの 妙法 尺類 振 連環

山形 あり色 病取 徳子巻

一 ともりの 妙法 一白あてとらう

付く

一 ともりの 妙法 色強

一 ともりの 妙法 生熟

のふ あり 念 徳子巻

一 ともりの 妙法 一白あてとらう

下 徳子巻

一月 月 星 曲 曲 入 家 の家 の家

一 物 之 中 の 物 の 中

一 物 之 中 の 物 の 中

一 人 物 と 人 物 又 人 の 家

一 人 物 と 人 物 又 人 の 家

一 虫 之 類 虫 之 類

一 虫 之 類 虫 之 類

虫 之 類 虫 之 類

虫 之 類 虫 之 類

山 浦 的 的 的

山 浦 的 的 的

山 浦 的 的 的

山 浦 的 的 的

山 浦 的 的 的

一 月 田 松 竹 栂

一 月 田 松 竹 栂

一 月 田 松 竹 栂

一 月 田 松 竹 栂

一 月 田 松 竹 栂

一 月 田 松 竹 栂

みまらり 新 さらさらんか
のまきまきへりしきしむか海よのこ
くしんひひかひらへらりくくわ
くしん たらん乃名 田名
名 木和 林城 人 数 無
木懐 田字 けいさくあし 親子れ
内さ 連懐よりらひさ海人八百
のうららりしき
級乃切字

ト さらぬのびっい
何 さらぬきりく
くえ 誰 と 新
りれ 下知
一 定したる文交しとせもあつされが又介
有くつあつりしきしむか海よのこ
ゆあくも 興あつるさよとるなり

山端より入致方より極のまゝ
やハ山ありしころ心ありの
おくあふ久し自余の
一文字に喜ぶ下百約いふ
よきおぬる

▲長取と折之分

一 門 下 背戸 戸 漸子
二 穀 子 家 名 屋
三 穀 子 家 名 屋
四 穀 子 家 名 屋
五 穀 子 家 名 屋
六 穀 子 家 名 屋
七 穀 子 家 名 屋
八 穀 子 家 名 屋
九 穀 子 家 名 屋
十 穀 子 家 名 屋

二 階 穀 子 家 名 屋
三 階 穀 子 家 名 屋
四 階 穀 子 家 名 屋
五 階 穀 子 家 名 屋
六 階 穀 子 家 名 屋
七 階 穀 子 家 名 屋
八 階 穀 子 家 名 屋
九 階 穀 子 家 名 屋
十 階 穀 子 家 名 屋

▲同用之分

一 階 穀 子 家 名 屋
二 階 穀 子 家 名 屋
三 階 穀 子 家 名 屋
四 階 穀 子 家 名 屋
五 階 穀 子 家 名 屋
六 階 穀 子 家 名 屋
七 階 穀 子 家 名 屋
八 階 穀 子 家 名 屋
九 階 穀 子 家 名 屋
十 階 穀 子 家 名 屋

▲山形神之分

一 階 穀 子 家 名 屋
二 階 穀 子 家 名 屋
三 階 穀 子 家 名 屋
四 階 穀 子 家 名 屋
五 階 穀 子 家 名 屋
六 階 穀 子 家 名 屋
七 階 穀 子 家 名 屋
八 階 穀 子 家 名 屋
九 階 穀 子 家 名 屋
十 階 穀 子 家 名 屋

▲月周之分

一 階 穀 子 家 名 屋
二 階 穀 子 家 名 屋
三 階 穀 子 家 名 屋
四 階 穀 子 家 名 屋
五 階 穀 子 家 名 屋
六 階 穀 子 家 名 屋
七 階 穀 子 家 名 屋
八 階 穀 子 家 名 屋
九 階 穀 子 家 名 屋
十 階 穀 子 家 名 屋

一游

起木

檜

麩龜

▲山

一山

山

山

山人

山

之

山

山

山

招

小

小

山

山

着

湖

細

山

▲山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

明 津 津 津 津 津 津 津 津 津 津

同用之介
少 塩 淡 淡 淡 淡 淡 淡 淡 淡

同用之介
同 行 用 之 介

毎 派 塩 塩 塩 塩 塩 塩 塩 塩

海 人 物 者 塩 桶 蜻 壺

下 遊 代 魁 津 之 乳 糸 糸 之 乳

同 用 之 介 同 用 之 介

竹 之 林 松 林 松 林 松 林 松 林 松 林

松 林 松 林 松 林 松 林 松 林 松 林

松 林 松 林 松 林 松 林 松 林 松 林

松 林 松 林 松 林 松 林 松 林 松 林

松 林 松 林 松 林 松 林 松 林 松 林

松 林 松 林 松 林 松 林 松 林 松 林

松 林 松 林 松 林 松 林 松 林 松 林

松 林 松 林 松 林 松 林 松 林 松 林

松 林 松 林 松 林 松 林 松 林 松 林

浮橋 浮橋 二階河 浮橋

名所

作のむね 月乃若 前代

田の寛

新

神の海 河の海 磯

水

舟の久 時 磯 横川

和漢

一、被一用 浮橋

一、後をいふ者の法也 玉漢射之及まをえん

一、酒をまふ 船及 舟の海 用百 船

一、の心ハ 浮橋 舟の海 舟の海

一、の心ハ 浮橋 舟の海 舟の海

一、の心ハ 浮橋 舟の海 舟の海

一、の心ハ 浮橋 舟の海 舟の海

一、の心ハ 浮橋 舟の海 舟の海

一、の心ハ 浮橋

一、の心ハ 浮橋 舟の海 舟の海

一、の心ハ 浮橋 舟の海 舟の海

一、の心ハ 浮橋 舟の海 舟の海

一、の心ハ 浮橋 舟の海 舟の海

一、の心ハ 浮橋 舟の海 舟の海

いづれも 子松子松 あれは梅

月梅堂 ありひき けいひ あわらじ

あさひくし 物言 ちまよ けいひのまへ

まのま ちまよ けいひのまへ 茶まつ

くしゆら ちまよ けいひのまへ 茶まつ

あまふ系 柳 けいひのまへ 茶まつ

あまふ系 柳 けいひのまへ 茶まつ

あまふ系 柳 けいひのまへ 茶まつ

あまふ系 柳 けいひのまへ 茶まつ

あまふ系 柳 けいひのまへ 茶まつ

あまふ系 柳 けいひのまへ 茶まつ

あまふ系 柳 けいひのまへ 茶まつ

あまふ系 柳 けいひのまへ 茶まつ

あまふ系 柳 けいひのまへ 茶まつ

あまふ系 柳 けいひのまへ 茶まつ

あまふ系 柳 けいひのまへ 茶まつ

あまふ系 柳 けいひのまへ 茶まつ

あまふ系 柳 けいひのまへ 茶まつ

あまふ系 柳 けいひのまへ 茶まつ

あまふ系 柳 けいひのまへ 茶まつ

あまふ系 柳 けいひのまへ 茶まつ

あまふ系 柳 けいひのまへ 茶まつ

申 ぬきしれ結 人系あふ工印 此の結

ふはたき結の結 ころころ 海草 かり

海田 白細 百ふきき うちきき ころころ

のふ みはき せんか あり

ふあ りころ 増風 うた

ふあ り かしらあう けられ りう

ふあ り かしらあう けられ りう

ふあ り かしらあう けられ りう

ふあ り かしらあう けられ りう

ふあ り かしらあう けられ りう

ふあ り かしらあう けられ りう

ふあ り かしらあう けられ りう

ふあ り かしらあう けられ りう

ふあ り かしらあう けられ りう

ふあ り かしらあう けられ りう

ふあ り かしらあう けられ りう

ふあ り かしらあう けられ りう

てすらり 一合 石菖蒲 海松 命

ゆきも川 藪 ありて人 ともいふ

てのさん 歌 ありまの 町 莫庵 慎

月 かしら ちりね ぶと ありて 是

雁 ぬい ますみ さいの 前

いの ことん ありて 果

いん ありて 瑞

く ありて 瑞

ありて 瑞

ありて 瑞

ありて 瑞

ありて 瑞

ありて 瑞

ありて 瑞

ありて 瑞

ありて 瑞

ありて 瑞

ありて 瑞

ありて 瑞

いりま 相 日くし ありし こと

くし 類 しひの ぬ せ 具 然 こと ぐ ぐ ぐ

白り 類 ぬ あ せ 徒 然 せ ぐ ぐ ぐ ぬ ぐ ぐ

とく ぬ 牙 あ じ じ ひ や ぐ ぐ ぐ ぬ ぐ ぐ

さひ 類 ぐ ぬ 繁 きの 類 ぐ ぐ ぐ ぬ ぐ ぐ

相 横 ち ぐ ぐ ぐ ぬ ぐ ぐ ぐ ぬ ぐ ぐ

か ぬ ぬ の ぬ ぐ ぐ ぐ ぬ ぐ ぐ ぐ ぬ ぐ ぐ

とく ぬ 出 類 ぐ ぐ ぐ ぬ ぐ ぐ ぐ ぬ ぐ ぐ

徒 ぬ の ぐ ぐ ぐ ぬ ぐ ぐ ぐ ぬ ぐ ぐ ぐ ぬ ぐ ぐ

後 ぬ の ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ

後 ぬ の ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ

後 ぬ の ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ

後 ぬ の ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ

後 ぬ の ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ

後 ぬ の ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ

後 ぬ の ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ

後 ぬ の ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ

後 ぬ の ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ

後 ぬ の ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ

後 ぬ の ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ

後 ぬ の ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ

後 ぬ の ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ

ゆのこ音

香のりめゆ

にえの

くらり 花房茶味

酒三言 井

をさす 夜さし

寝る

断り 万末

推推

袂 衣のま

お茶うらら

袖の物 筋

お田ひつら

はむら 推

お茶

すけの

お茶

月重の

お茶

月重の

お茶

ゆ

お茶

ら

お茶

わの

お茶

く

お茶

土月

お茶

ゆ

お茶

お

お茶

お

お茶

お

お茶

養老 小祭 酉 新 祭

祭の礼 祭の礼 大所傳 昔 祭の歩

歩 時 歩 歩 歩 歩

祭の礼 祭の礼 祭の礼 祭の礼 祭の礼

祭の礼 祭の礼 祭の礼 祭の礼 祭の礼

祭の礼 祭の礼 祭の礼 祭の礼 祭の礼

祭の礼 祭の礼 祭の礼 祭の礼 祭の礼

祭の礼 祭の礼 祭の礼 祭の礼 祭の礼

祭の礼 祭の礼 祭の礼 祭の礼 祭の礼

祭の礼 祭の礼 祭の礼 祭の礼 祭の礼

祭の礼 祭の礼 祭の礼 祭の礼 祭の礼

祭の礼 祭の礼 祭の礼 祭の礼 祭の礼

祭の礼 祭の礼 祭の礼 祭の礼 祭の礼

祭の礼 祭の礼 祭の礼 祭の礼 祭の礼

祭の礼 祭の礼 祭の礼 祭の礼 祭の礼

祭の礼 祭の礼 祭の礼 祭の礼 祭の礼

祭の礼 祭の礼 祭の礼 祭の礼 祭の礼

祭の礼 祭の礼 祭の礼 祭の礼 祭の礼

祭の礼 祭の礼 祭の礼 祭の礼 祭の礼





